

平成 29 年度 第 2 回学校評議員会報告

I 開催日時 平成 30 年 2 月 16 日（金） 14：00～15：30

II 内 容

1 学校概要説明

2 協議・助言

○質問

〈E氏〉 Q：学校評価アンケート（教職員向け）の内容に関わって理想的な教育をする上で職員の精神面の健康と肉体的な健康の保持が大切と思っています。職員は十分に休暇がとれているのでしょうか。

A：本校における年次有給休暇等取得の平均は20日／年となっています。

〈E氏〉 Q：（近隣に住んでいるが）防災ベルの誤作動が数回あったようです。防災ベルの誤作動が頻発すると、生徒の防災ベルに対する「慣れ」に繋がる危険性があるのではないのでしょうか。

A：昨年度落雷による停電で防災ベルの誤作動がありました。今年度は子どもの誤発報もあり、ベルが鳴ることがありました。その都度、放送で誤報であることを伝え、対応しております。今後、誤作動がないよう気をつけていきたいと思っています。

〈E氏〉 Q：いじめの捉え方は立場で個人差があるように感じています。だれもが客観的に捉えることができる基準を設けた方がいいのではないのでしょうか。

A：いじめの基準として一定の関係が存在すること、した側が影響を与える行為をしたこと、された側が心身の苦痛を感じていることを職員が共通して認識し、いじめと捉えて対応しています。また、個々のケースに対して一人ひとりに合わせた対応を心がけています。

○意見

〈E氏〉 学校評価アンケートとの因果関係がわかりやすい形であればいいのではないかと思います。毎回同じ項目を繰り返すことでアンケートから読み取れる傾向に偏りがみられることもあるようです。

〈A氏〉 ヒヤリ・ハットのケースが増えてきているようですが、同様に、園でも対応に苦慮している児童・生徒がいます。学校と一緒に協力して支援していくために、指導や支援方法の情報の共有を図っていききたいと思っています。

〈A氏〉 学校評価アンケートを園の職員も回答しています。学校の情報発信についての評価が低かったようですが、HP等でたくさんの情報を発信していることを園の職員にも伝えていききたいと思っています。

〈E氏〉 アンケートの選択肢に「わからない」とありますが、特にも、HP上でアンケートを見

た人は、「わからない」という選択肢の意味が分からないのではないかと思います。

〈D氏〉 職員の健康管理について、同じ経営者として職員の健康管理に留意していきたいと思っています。

学校間交流を始め、地域との交流など様々な取り組みに成果が見られています。

また、あいさつへの取り組みも素晴らしく、今後もぜひ続けていってほしいと思います。

〈C氏〉 学校経営方針の成果からも職員が共通理解しながら取り組んでいることがわかりました。また様々なことに取り組んでいることもわかりました。校外学習に取り組んでいる子どもたちを町で見かけることもあり、地域に開かれている学校だと思っています。地域の交流もとても良い活動だと思いました。

○質問

〈C氏〉 Q：学校へ行こう週間では教室の中に入れるのでしょうか？

A：基本的に授業を見ることはできますが、子どもたちの状況や情緒面、衛生面への配慮により場合によっては、廊下からの参観などご協力をお願いする場合があります。

○意見

〈C氏〉 地域の学校へ訪問し、支援方法の助言など相談を受けていただき、とても助かっていると言う声を耳にしています。今後もよろしくお願いします。

A：本校担当職員が指導支援に関する助言を行なっていく中で、最終的には、個々の学校が、支援を必要とする子どもたちに対応できるようになることを目標としています。

〈C氏〉 「福祉の里まつりで子供の成長を目の当たりにし、感動しました。」という声を聞いています。福祉との連携や細やかな指導により、子供の成長を促すことのできる環境は素晴らしいと思っています。ありがとうございます。